

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評価日 平成27年 10月14日

団体名	草友会		
事業名	美笹ハンノキ自然園(仮称)復活活用事業		
対象経費	80,398円	支援金額	40,000円

事業の目的・内容	目的 <事業の目的> 廃園となった美笹湿原を復活させ市民に利用してもらい、佐久市民の自然への関心を深め、合わせて自然の保全をする。
	内容 <事業の内容> 平成27年度事業 1) 歩道および木道の保全 2) 植生調査 3) 植物銘板の設計および取り付け 4) 観察会の実施 5) トイレ清掃

事業の活動実績	1) 歩道および木道の保全: 木道の保全は倒れかけた木道の補修は平成26年度でほぼ完了し、本年度は腐った橋げた67本の交換を実施(5月28日に完了)した。また、歩道の草刈りを一回実施、歩道の倒木をチェーンソーで切断し撤去(3回)した。 2) 植生調査: 随時調査し新たに546種をリスト表に加えた。 3) 植物銘板の設計および取り付け: 182枚作成し取付。 5月15日の銘板設置日には信濃毎日新聞が訪れ翌16日に銘板取付の様子の記事が載りました。 4) 観察会の実施: 他団体の観察会が実施されました。 5) トイレ清掃: 一か月一回程度にトイレの掃除をしました。 6) その他: 美笹湖に入る川の橋を補修しました。
	平成27年度の活動により美笹自然園として観察できる体制が出来上がりました。 これ以降は植物愛好者による観察が見込まれる。



支援金はすべて木道修理に使いました。

事業の成果・効果	すべての事業は、支払い合計80,398円で完成しました。これには工夫と多大の労力を使っての事業で費用効果が多大となった。
	木道の修理・清掃、歩道の除草、風倒木の除去、トイレの清掃などの環境整備をし、通年を通して安全に植物観察ができる環境ができました。
	植物銘板を約180枚取りつけました。簡潔に植物の説明文と写真をのせたので、観察の参考になっております。なお、同銘板は簡易なため対候性が悪く寿命は1~2年程度と思われます。
	5月から8月までに100人以上の来園者があったと思われます。特に5月16日の信濃毎日新聞に取り上げられた以降来園者が急増し、自然への関心が高まりつつある。 観察歩道の完成、植物種調査が完了し自然の保全ができた。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ ② 多少の変更があった ③ 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	本活動の関連として2015年の美笹の植物カレンダーを発行販売したこと。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	平成28年度事業 (予定) 1) 周遊遊歩道の増設 2) 説明資料作成と講師育成 3) 観察会の実施 4) 園の保全 (継続) 5) 植生調査 (継続)
	利用の促進には次の事項を推進する必要があります。 1. 公園の位置づけ(市の施設かあるいは草友会の管理で市は関与しないのか) 2. 利用促進のための関連設および資料の作成、講師の育成 3. 利用の働き掛け